

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-234093

(P2000-234093A)

(43) 公開日 平成12年8月29日 (2000.8.29)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード* (参考)
C 1 0 G 45/10		C 1 0 G 45/10	A 4 H 0 0 6
B 0 1 J 27/053		B 0 1 J 27/053	X 4 H 0 2 9
C 0 7 C 5/27		C 0 7 C 5/27	4 H 0 3 9
5/29		5/29	
7/163		7/163	
審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 11 頁) 最終頁に続く			
(21) 出願番号	特願平11-324243	(71) 出願人	590000455 財団法人石油産業活性化センター 東京都港区虎ノ門四丁目3番9号
(22) 出願日	平成11年11月15日 (1999. 11. 15)	(71) 出願人	00010:567 コスモ石油株式会社 東京都港区芝浦1丁目1番1号
(31) 優先権主張番号	特願平10-359735	(72) 発明者	木村 孝夫 埼玉県幸手市権現堂1134-2 コスモ石油 株式会社研究開発センター内
(32) 優先日	平成10年12月17日 (1998. 12. 17)	(74) 代理人	100070161 弁理士 須賀 総夫
(33) 優先権主張国	日本 (J P)		
		最終頁に続く	

(54) 【発明の名称】 軽質炭化水素油の水素化脱硫異性化方法

## (57) 【要約】

【課題】 硫黄を含有する軽質炭化水素油の脱硫と異性化とを行なって、硫黄含有量の低い異性化ガソリンを得る技術において、異性化の前処理工程として不可欠であった脱硫を異性化と同時に行なうことのできる方法を提供し、それによって必要な設備を簡略化し、ランニングコストを低減すること。

【解決手段】 ジルコニウムの酸化物または水酸化物からなる担体に、硫酸根を硫黄分にして1〜3質量%与えるとともに、パラジウムまたはニッケルを0.05〜10質量%含有し（パラジウムを含有する触媒には、さらに白金を0.05〜10質量%含有させることができる）、550〜800℃の温度で焼成安定化させてなり、比表面積が50〜150m<sup>2</sup>/gである触媒を使用し、これに、硫黄分含有量700質量ppm以下の軽質炭化水素油と水素とを、温度：140〜400℃、圧力：1.0〜4.5MPa、LHSV：1.0〜10h<sup>-1</sup>、H<sub>2</sub>/Oil比：1〜3mol/molの反応条件下に接触させて、水素化脱硫と同時に異性化を行なう。